

はしがき——人生を変える MBA ¹

神戸大学経営学部は、1902年に創立された神戸高等商業学校を起源とし、1949年にわが国最初の経営学部として設置されました。MBAも全国に先駆けて1989年に誕生し、2014年に25周年を迎えることができました。1999年には経営学分野でわが国で初めて大学院重点化が完成し、神戸大学大学院経営学研究科となりました。神戸の地に「学理と実際の融合」を目指して官立の学校が創設されてから、約50年後に経営学部が誕生し、その50年後にMBAが創設され、約100年後に大学院が重点化されたこととなります。

過去100年以上の間、神戸大学大学院経営学研究科は日本における経営学研究の最先端を走ってきました。経営学研究および教育に数々のイノベーションをもたらしてきたと自負しておりますが、そのなかでも最大の成果の一つがMBAの設置とその後の展開です。

神戸大学MBAは、神戸方式とも呼ばれる独自の教育方式を開発し、数多くの社会人を教育し、多くの人材を育成してきました。その3本の柱は、本書で詳しく解説しますが、「研究に基礎をおく教育」と「働きながら学ぶ」というコンセプト、そして両者を統合した「プロジェクト方式」という教育方法です。これらを総称して、われわれは「神戸方式」と名づけています。MBA教育の支柱である神戸方式は、25年の歴史を経てさらに洗練進化しつつあります。

神戸大学大学院経営学研究科のモットーの一つは、最先端の経営学研究の知見を産業界に広く公開して、産業界とともに歩むオープンアカデミズムという姿勢です。神戸大学MBAはわれわれのオープンアカデミズムの最先端の機関です。2004年には、産業界との連携をより強化するために、現代経営学研究所（Research Institute of Advanced Management: RIAM）を設立し、産業界に対して実践的な知の普及に努めてまいりました。2014年はMBA25周年である

¹ 神戸大学専門職大学院（MBA）編『人生を変えるMBA：「神戸方式」で学ぶ最先端の経営学』（有斐閣、2015年6月末刊行予定）の内容見本を公開しています。著作権は編者に帰属いたします。

とともに、RIAM10周年にもあたります。このような記念すべき年に、神戸大学 MBA の真髄を広く社会に公開し、より多くの方に神戸大学 MBA の魅力を知っていただき、さらに多くの産業界の方に MBA の門戸を叩いていただきたく、本書の出版を企画しました。

本書は3部から構成されています。まず第Ⅰ部では、神戸方式という日本型 MBA 教育プログラムが、どのようにして誕生し、どのように進化し、今後どのように展開すべきかについて説明しました。第Ⅱ部は、MBA で教鞭をとる現役教授陣が、MBA 教育と研究のエッセンスをわかりやすくまとめました。それぞれの教員の研究に基礎をおく教育の一端が垣間見られると思います。第Ⅲ部では MBA 教育の実際として、論文の書き方や卒業生インタビュー、学生の研究成果の一部などを掲載しました。ここでは、MBA での学習とその成果が肌で感じられることでしょう。

MBA25周年、RIAM10周年を記念して、今回はこのような形で神戸大学 MBA のエッセンスをまとめることができたことは、次の25年へ向けた新しいスタートラインでもあります。大学は教員と学生が協同して新しい知を生み出す実践的な場であり、この書を読んで一人でも多くの方が神戸の地に足を運んでいただけることを期待しています。神戸大学 MBA および RIAM は経営に関心のあるすべての人に対して開かれた場を提供し続けてきたし、これからもその最先端の場であり続けることを、この場を借りてお約束したいと思います。最後になりましたが、本書は、MBA 教務委員の黄磷教授、RIAM 機関誌『ビジネスインサイト』編集長の南知恵子教授が編集を担当しました。両教授の献身的なお仕事に深く敬意の念を表したいと思います。また、原稿のとりまとめなどは、古藤良子経営学研究科長秘書が担当しました。本書の作成に協力いただいたすべての方に深くお礼申し上げます。

2015年4月1日

神戸大学大学院経営学研究科長

國部克彦